



流通とSC・私の視点

2007年4月27日

視点(748)

ロハス企業のタイプと定義!!

ロハス(LOHAS)を、地球・自然への持続可能な経済成長への貢献基準のレベルで分類すると次の3段階に区分することができます(六車流：流通理論)。

	内 容	自動車での比喩
第1のステップ	現状の人間社会システムの中で、できるだけ地球や自然への負担を軽くするレベル	CO ₂ の排出をできるだけ少なくする(燃費を高める)
第2のステップ	現状の人間社会システムの中で、人間が地球や自然に与えた負担と同じ水準で他の仕組みによって補充するレベル	CO ₂ の排出量を代替エネルギーによって補充。結果的にCO ₂ は増加しない
第3のステップ	現状の人間の社会とシステムの中で、その社会行動を行えば行うほど、地球や自然が良くなるレベル	CO ₂ を吸収して、O ₂ を排出することにより、車が増大すればするほど地球と自然が良くなる

ロハスは人間と自然との調和の概念であるため、「人間社会への貢献度」と「地球・人間にやさしい」の両面から、ロハス企業を定義すると次の通りとなります。

	人間社会への貢献度	自然と人間へのやさしさ	事 例	ロハス企業性	SMでの比喩
第1のパターン	× (貢献していない)	× (やさしくない)	独裁・テロ国家の 軍事産業 悪徳商法 政治的建築・土木 工事	非ロハス企業 (社会の敵)	少し前の日本の農業 現在の中国の農業 (農薬で汚染された農作物)
第2のパターン	(貢献している)	× (やさしくない)	多くの一般の企業 アメリカの自動車企業	非ロハス企業 (普通の企業)	ウォルマート
第3のパターン	(貢献している)	(他企業よりも負担を少なくしようとしている)	日本の自動車企業 社会性のある企業	準ロハス企業 (京都議定書を守ろうとする企業)	健康に気を遣うSM
第4のパターン	(貢献している)	(やさしい)	ホールフーズ (犠牲分に見合う地球 貢献をし、±ゼロ)	真正ロハス企業	ホールフーズ
第5のパターン	(貢献している)	(大いにやさしい)	ファルマカ (病人を少なくする薬局) 新型自動車 (O ₂ を出すエンジン)	超ロハス企業	バイタミカテッジ
第6のパターン	× (貢献していない)	(やさしい)	ヒッピー(思想自給 自足生活者) 原始自給自足生活者	原始ロハス (企業になれきれない)	ボルダーコープ

さらに、ロハスを理念の面から見ると次の通りです。

	内 容	ロハス企業の適正
第1のタイプ	自然や地球にやさしい考え方を企業の創業理念・コンセプトとする企業	理念ロハス企業
第2のタイプ	自然や地球にやさしい考え方を社会責任の1つとして考える企業	社会ロハス企業
第3のタイプ	自然や地球にやさしい考え方を全く意識していない企業	非ロハス企業

(株)ダイナミックマーケティング社³
代 表 六 車 秀 之